

横手市大雄

泥炭の伝統よみがえるぬくもりの里

福島 ふくじま 地域イラストマップ

平成 29 年から地域活性化に向けて「福島再輝プロジェクト」を立ち上げ、住民同士の交流機会を作る活動に力を入れています。

根っこ掘り

昭和 30 年代まで燃料として使用していた「泥炭」は、草の根が長年にわたり堆積し炭化したもの。

泥炭は「田村根っこ」と呼ばれています。

薪と異なり、ゆるやかな暖かさを保てるのが根っこの特徴。どこの家でも燃料に使っていました。

平成 29 年 6 月に採掘を復活！

福島

秋は大雄保育園の園児が福島集落でさつまいも掘り♪



田の神様と観音様が祀られています。

4月1日は「観音様」9月第一日曜は「田の神」のお祭りが行われています。

田んぼの水口に御幣をさしておきます。

虫祭り

6月第一日曜の「虫祭り」では、無病息災を祈願します。



福島集落と菅江真澄
文政八(1825)年、大森村から阿気村に入った真澄は、旧大雄村の記録を残しており、根っこが大雄の集落で使われている様子や、福島集落の名前の由来も記しています。



田村神社
大同 2(807)年、坂上田村麻呂が毘沙門堂を建立したのが始まりです



病焼き(やめやし)
12月8日に行う厄払い行事。焼き餅を作り全戸に配布します。

野崎

新町

●大雄保育園

至 横手市役所
大雄庁舎

ゆとりおん大雄
まで車で5分



【車の場合】

- 福島停留所→大雄保育園…3分 ●農家民宿きせつの郷→福島停留所…2分
- 福島構造改善センター→福島停留所(直売所)…1分

ビューポイント 直産地直売所

●制作:秋田県 ●イラストマップ制作日:平成31年(2019年)3月